

【2019 年度】

■国内学会：

- 1 川村佑香、末永達也、福岡宏之、澤広太、若松綾乃：左小脳梗塞の協調性運動障害対し視覚フィードバックを用いた下肢運動課題により屋内独歩が自立した症例。  
第 38 回東京都理学療法学会(東京)。2019.6
- 2 澤広太、網本和、石神佳祐、石井千佳、宮本琢也、鈴木陸也、槇野遥香、福岡宏之、末永達也、宮上光祐：回復期脳血管障害に対する座位ウェッジ・トレーニングが1ヶ月後のバランス能力、日常生活自立度における予後回復過程に及ぼす影響。第 17 回日本神経理学療法学会(横浜)。2019.9
- 3 平松恭介、古田憲一郎、石野浩：回復期病棟でのカナダ実践プロセス枠組みの段階に至った支援一重度脊髄損傷を呈した症例とその家族が安心して自宅退院を迎えた事例一。  
第 53 回日本作業療法学会(福岡)。2019.9
- 4 古田憲一郎、森園子、南梢、中司勇士、平松恭介：関節リウマチ患者に対する作業の可能化の基盤に焦点を当てた実践報告一退院後の生活の再構築に向けた協働一。  
第 53 回日本作業療法学会(福岡)。2019.9
- 5 星達也、戸原玄、阿部仁子、並木千鶴、宮上光祐：ダブルバルーンカテーテルによるバルーン拡張法を導入し経口摂取を獲得した一例。第 25 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会(新潟)。2019.9
- 6 田井中美咲、星達也、福岡宏之、宮上光祐：胃瘻造設が必要とされたが間歇的経口経管栄養法により経口摂取可能となった1例。第 25 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会(新潟)。2019.9
- 7 内藤進太郎、福岡宏之、澤広太、高橋友樹、南梢、末永達也、美崎定也：  
当院訪問リハビリテーション利用者と家族を対象としたアンケート調査からみえた課題。  
リハビリテーションケア合同研究大会 2019(金沢)。2019.10
- 8 福岡宏之、澤広太、末永達也、宮上光祐、美崎定也：回復期脳卒中患者における運動 FIM 利得予測式の作成の試み～クラスター分析・一般化線形モデルでの検討～。  
リハビリテーションケア合同研究大会 2019(金沢)。2019.10
- 9 平松恭介、鈴木麻奈、橋爪秋恵、古田憲一郎、澤広太、福岡宏之、末永達也、宮上光祐：  
回復期における高次脳機能障害を有する患者家族への家族講習会の取り組み。  
リハビリテーションケア合同研究大会 2019(金沢)。2019.10

- 10 古田憲一郎、南梢、平松恭介：作業療法独自の評価に関する過去 10 年の傾向ー回復期リハビリテーション病棟における脳血管障害を対象とした文献レビュー。リハビリテーションケア合同研究大会 2019(金沢)。2019.10
- 11 中司勇士、澤広太、福岡宏之、末永達也、美崎定也、宮上光祐：脳血管障害患者におけるシーティング後の FIM 変化量ーHoffer 分類の Group3 症例におけるモジュラー型車椅子とティルト・リクライニング型車椅子の比較ー。第 15 回日本シーティングシンポジウム(東京)。2019.11
- 12 堀井稔恵：当院における転倒転落に関するインシデント・アクシデントレポートの分析。リハビリテーションケア合同研究大会 2019(金沢)。2019.10

■国際学会：

- 1 澤広太、網本和：Effects of lateral truncal tilt balance training with a wedge on Subjective Postural Vertical and sitting balance in stroke . 13th International Society of Physical Therapy and Rehabilitationmedicine World Congress(神戸)。2019.6
- 2 澤広太、網本和：Efficacy of repetitive lateral truncal tilt balance training with a wedge on Subjective Postural Vertical recovery after atroke -A randomized crossover trial-. European Congress of NeuroRehabilitation 2019(ハンガリー)。2019.10

■論文：

原著

- 1 宮上光祐、星達也、福岡宏之、戸原玄、阿部仁子：回復期脳血管障害経管栄養例の誤嚥性肺炎の発症要因。日本摂食嚥下リハビリテーション学会誌 23 巻 1 号 8-18

症例報告

- 1 南梢、三橋陽平：退院前訪問指導と訪問リハビリテーション-本人の”やりたい”を実現するために-臨床作業療法 vol.16 No.6 2020 442-444